

トマト黄化葉巻病、トルコギキョウ葉巻病

この病害は、“タバココナジラミ”（体長1mm程度）という害虫だけが媒介するウイルス病（病原ウイルス：*Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)）で、トマト、ミニトマト、トルコギキョウなどに発生します。

広島県では平成16年9月に初めて施設トマトで発生が確認されています。

この病害は、トマトでは発病前に着果した果実は正常に生育しますが、発病後は開花しても結実せず、収穫できなくなります。また、トルコギキョウも正常に生育せず、収穫できなくなります。

トマトの症状

新しい葉が黄化し、葉が巻いてきます。症状が進むと、生長点付近で節間が短縮したり、株全体が萎縮したりします。



トルコギキョウの症状

節間が短縮したり、葉表が内側に巻いたりします。



伝染方法

タバココナジラミの吸汁によって伝染します。親のウイルスがその子供に伝わる経卵伝染はしません。

ハサミ、種子、土壌、その他の害虫（アブラムシ類、アザミウマ類など）では伝染しません。



タバココナジラミ成虫



タバココナジラミ蛹

防除方法

ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除を徹底しましょう！

- 育苗期～定植時に、コナジラミ類に登録のある粒剤を使用しましょう。ただし、抵抗性の発達を防ぐため、同じ系統の薬剤の連続使用は控えましょう。
- 薬剤による防除のほか、ハウスへの侵入を防ぐために、黄色粘着シート、防虫ネット（目合い0.4mm以下）、紫外線カットフィルムの設置や光反射シートをハウス周辺に設置することも有効です。※紫外線カットフィルムは濃色品種では花色発現に影響する可能性があるため、注意してください。
- 収穫終了後は、株を切断・断根して植物体を枯死させると同時に、施設を密閉して蒸し込みを行い、施設内のコナジラミを死滅させましょう。



ハウス周辺への黄色粘着シート設置

除草を徹底しましょう！

ノグシ、ウシハコベなどの雑草にも感染します（ただし、症状はできません）。タバココナジラミの増殖源にもなるので、除草を徹底しましょう。



ハウスサイドへの防虫ネット設置

感染した株は直ちに処分しましょう！

感染した株は回復せず、さらに感染源となります。疑わしい株は見つけ次第、抜き取ってほ場から持ち出して処分しましょう。

トマト、トルコギキョウなどの残さや果実を適切に処分しましょう！

植物残さ、果実、野良生えトマトをそのまま放置しておくとう感染源になるので、ほ場から持ち出して処分しましょう。

家庭菜園でトマト、ミニトマトを栽培されている方へのお願い

家庭菜園のトマトなども感染源になる可能性がありますので、疑わしい株は見つけ次第、抜き取ってほ場から持ち出して処分して下さい。ご協力お願いします。

キュウリ、メロン、ナスなどを栽培されている方へのお願い

キュウリ、メロン、ナスなどにはこのウイルスは感染しませんが、ウイルスを媒介するタバココナジラミは増殖します。これらの作物でもタバココナジラミが増えないよう薬剤による防除などの対策をとって下さい。